

活動報告シート

主催：北海道建築士会まちづくり委員会

● 事業名	北海道建築士会 まちづくり会議	● 日 時	平成30年2月24日（土）
● 場 所	札幌 大通公園ビル（通称：ヤクルトビル）	● 協力団体等	
● 活動の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 景観まちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災まちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史まちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 街中（空き家）まちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 福祉まちづくり <input type="checkbox"/> 木のまちづくり <input type="checkbox"/> 経済まちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 人まちづくり <input type="checkbox"/> その他		

● 活動目的
 日本建築士会連合会では昨年、まちづくり活動の質の向上を目指し、防災／歴史／景観／街中（空き家）／福祉という5つのまちづくり部会が発足した。北海道における各まちづくり分野の取組み状況や課題について、行政等と建築士会が情報共有を図るとともに、これからのまちづくり活動をどのように展開すべきかを考えるために開催する。また、「まちづくり」というキーワードをとおして、各委員会の連携強化も目的とする。

● 内 容
 まちづくり行政の方々、まちづくりに関わる各実行委員会委員、まちづくりに興味のある会員など参集のもと、「まちづくり活動のコレカラ～防災／歴史／景観／街中（空き家）／福祉～」をテーマに、①全国まちづくり委員長会議の報告②公開ディスカッション③グループ討議 が行われた。

1. 全国まちづくり委員長会議の報告（16:00～16:15）
 まちづくり委員会 清水副委員長より、まちづくり5部会は横の連携をとりながら展開していくことに意義があり、それを具現化していくには行政との連携が極めて重要であるとの報告があった。

2. 公開ディスカッション（16:15～18:05）
 「防災／歴史／景観／街中／福祉 という視点のまちづくり」をテーマに、行政パネラーのみならず、その取り組みや課題、建築士（会）に担ってほしい役割などの話を伺い、行政としては技術職員が不足しており、初動の応急危険度判定や特定空き家の判定などに建築士会のマンパワーが必要であるという切実なお話を、建築士会パネラーからは、各部会の活動計画等やその計画に関わる北海道での委員会活動について伺い、各部会の活動計画に対する北海道の活動達成状況が低く、今後の検討が必要であることと、歴史的建築物の活用促進に向けた建築基準への取組みについて、今後、行政と連携していきたい旨の報告があった。

＜行政パネラー＞
 【防災】北方建築総合研究所 戸松主任／【歴史】小樽市まちづくり推進課 中西課長／【景観】北海道都市計画課 寺谷主査／【空き家】北海道建築指導課 清水主幹／【福祉】本別町総合ケアセンター木南所長補佐

＜建築士会パネラー＞
 防災まちづくり部会 牛田委員／歴史まちづくり部会 関川委員／景観及び街中（空き家）まちづくり部会 針ヶ谷委員／福祉まちづくり部会 本間委員

3. グループ討議（18:10～18:25）
 「まちづくり活動をミライ予測」をテーマに、防災／歴史／景観／空き家／福祉の5テーブルに分かれ、①行政と建築士会の連携 ②まちづくり活動のコレカラ をお題に、行政の方々や部会委員を参加者が囲み、ざっくばらんに、そして、賑やかに、意見交換が行われた。

●参加者	運営	会員	一般	学生	子ども	講師等	その他	計
	7	27	4			5		43



公開ディスカッション

グループ討議（防災）

グループ討議（歴史）



グループ討議（景観）

グループ討議（街中）

グループ討議（福祉）

問い合わせ先	（一社）北海道建築士会 まちづくり委員会		担当者	委員長 針ヶ谷 拓己（はりがやたくみ）
連絡先	TEL 011-251-6076	FAX 011-222-0924	e-mail	info@h-ab.com
ホームページアドレス	http://h-ab.com/committee/machi/			